

3. 写真で見る乾草の品質判定

ここでは、今回調査した5草類の輸入乾草19サンプルについて、広角および拡大写真を示します。それぞれに、購入単価と、主な飼料成分の分析値を添えました。

さらに、写真の下に品質判定に関するコメントを示しました。前段は「見た目」からのコメントで、前項で紹介した乾草判定色紙による色調（緑度）、生育ステージ、品質の推定を記述しました。後段は「分析値」からのコメントで、日本標準飼料成分表（2009年版、中央畜産会）に掲載の成分値との比較を中心に示しました。

ひとつひとつが異なる乾草について、品質の見方や判定のコツ、乾草同士の比較など「見る目」を養い、農家現場での品質判定のヒントにしてください。

※ サンプル No. 1-8：スーダングラス、No. 9-14：アルファルファ、No. 15-16：エンバク、No. 17-18：クレイングラス、No. 19：チモシー

※ 購入単価は、農家への聞き取りによる庭先入手価格です。

※ 飼料成分用語

CP : 粗蛋白質

NDF : 中性デタージェント繊維（総繊維）

CF : 粗繊維

NO₃-N : 硝酸態窒素

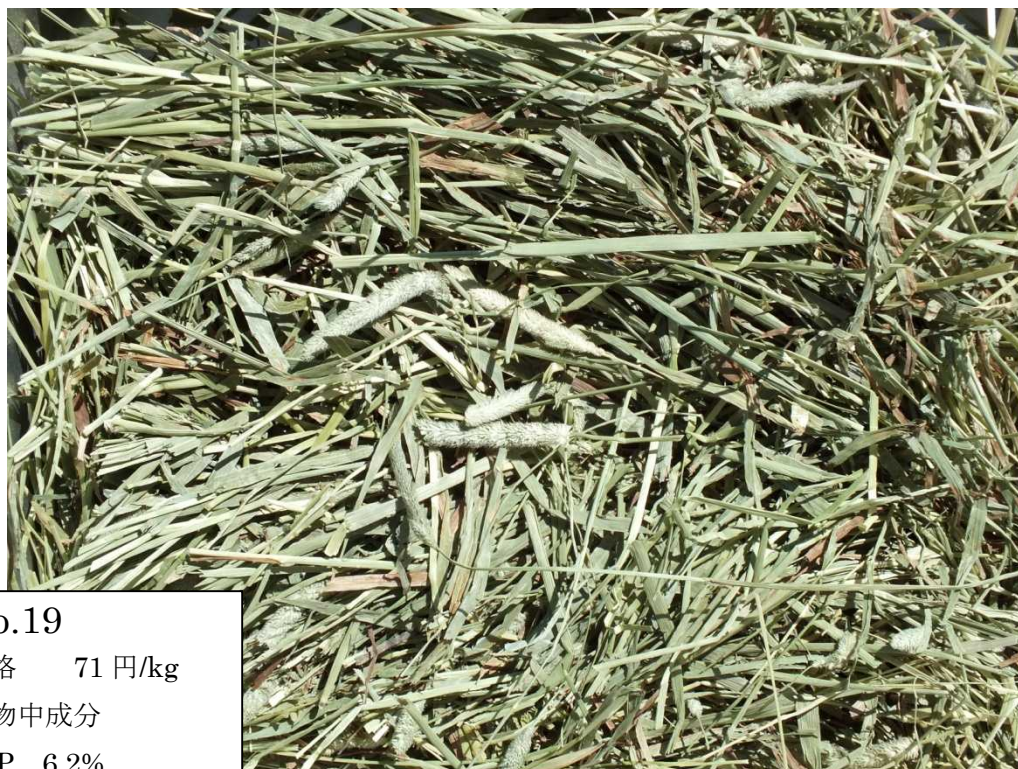
参考) 飼料の硝酸態窒素と家畜中毒の関係 (ミラーランド大学)	
乾物中の硝酸態窒素濃度	危険の有無と注意点
0~1,000ppm	どのような状態でも安全。
1,000~1,500ppm	非妊娠牛では安全。妊娠牛では総飼料の50%以下に制限する。
1,500~2,000ppm	総飼料の50%以下に制限する。
2,000~3,500ppm	総飼料の30~40%に制限する。妊娠牛には給与しない。
3,500~4,000ppm	妊娠牛には給与しない。25%以下に制限する。
4,000ppm以上	中毒のおそれがあるので、給与しない。

TDN : 可消化養分総量。飼料分析値に日本標準飼料成分表（2009年版）

掲載の消化率を掛けて算出した推定値で示します。

※ 色調（緑度）の値は、乾草サンプルを実際に見ての判定であるため、写真に写った部分の色の印象、あるいは印刷の色の印象などと、若干のずれを生じる場合があります。

(5) 【チモシー乾草】 上：広角写真 下：拡大写真



No.19

価格 71 円/kg

乾物中成分

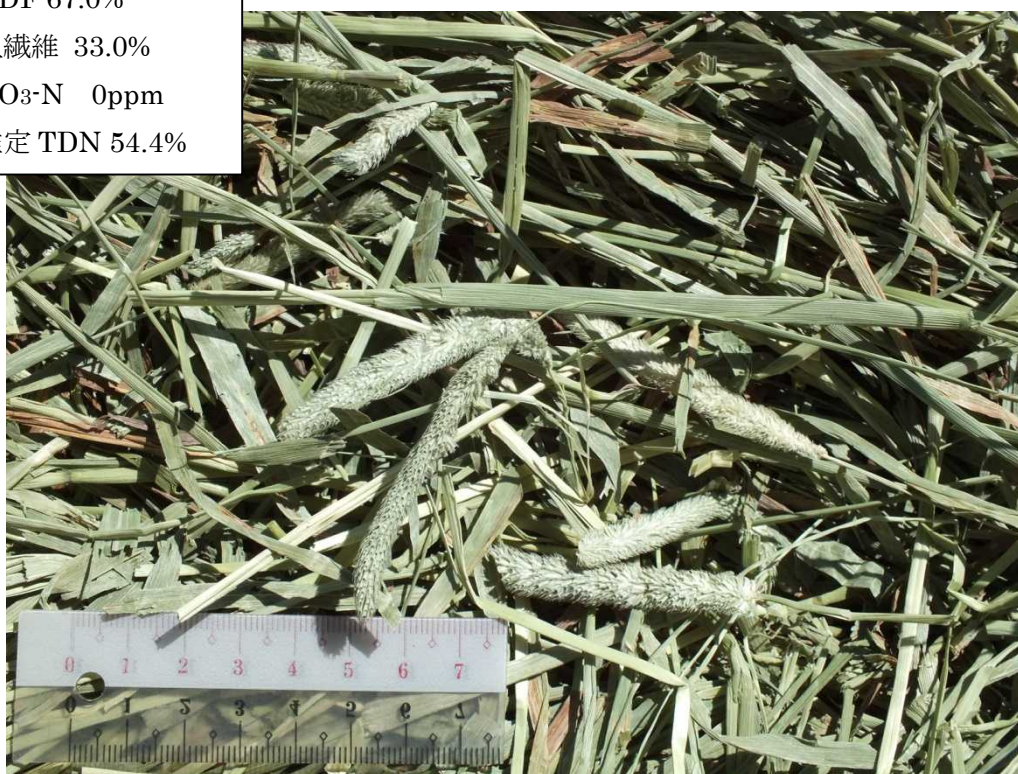
CP 6.2%

NDF 67.0%

粗繊維 33.0%

NO₃-N 0ppm

推定 TDN 54.4%



色調 50 生育ステージ：結実期 生育ステージが進んでいるため、一般的に想定しているチモシーよりも CP が低く、繊維が高い可能性が考えられる。

分析値では、日本標準飼料成分表の「輸入乾草チモシー(32%≤CF≤37%)」と比べて CP が低い、繊維は特に高くない。